科目名	国際看護実習Ⅰ （タイ王国の保健医療） International Nursing Practice Ⅰ	担当教員 （研究室番号）	清水　真由美（407）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	3年次 後期	科目区分	総合科目	選択区分	自由	単位数 （時間）	2(60)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										ｵｰﾌﾟﾝｸﾗｽ	否

科目目的		開発途上国の保健医療や看護についての理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を高め、国際的視野および多文化共生の視点を持って活動するための基礎となる能力を養う。
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	C　多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）
	関連するDP	B　人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解） E　地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断）
到達目標		1. タイ王国の健康問題、保健医療、看護の実際について説明することができる。 2. タイ王国の政治経済、文化、歴史、自然環境、生活習慣が人々の健康状態にどのような影響を与えるのかを説明できる。 3. 文化・社会背景の違いが、看護実践にどのような影響を与えるのかを説明できる。 4. 日本の保健医療・看護の現状や課題を、他国との比較によって、新たに捉え直すことができる。 5. 国際保健・看護協力に携わる看護職にふさわしい態度を身につけるとともに、自らの健康・安全を管理することができる。

成績評価方法（基準）	事前学習（20%）　実習参加状況等（60%）　課題(20%)
再試験の有無と基準等	
教科書	
参考書等	ユニセフ：世界子供白書（2024)、WHO:State of the World’s Nursing Report - 2020 厚生統計協会編：図説国民衛生の動向 2023/2024 Fifth Edition Nursing in the world editorial committee: Nursing in the world (2008) その他
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	マヒドン大学での講義、病院や保健センターの見学を通じて、タイ王国の保健医療・看護の実際を学びます。現地での生活を実際に体験することで、文化、宗教、生活習慣などについての理解を深めることもできます。柔軟な気持ちと大きな好奇心をもって参加してください。
備考	履修人数に制限があります。講義・見学時の説明は英語で行われるため、履修者には英語の理解力が求められます。 現地実習の日程等の詳細については、後日提示します。

学　習　内　容

【講義・見学・発表】
・マヒドン大学ラマティボディ校と付属病院における講義と見学
・バンコク近郊の保健センター見学など
・英語での発表（日本の文化、保健医療、看護など）

【先行履修】
・履修希望者は、英語選択科目、「医療と文化(2年次前期)」、「多文化社会の課題(3年次前期)」を履修しておくことが望ましい。
・研修生向けの英語による公開講義(日本の保健医療・看護の概要等）を受講しておくことが望ましい。

学　習　課　題

【事前学習】
・自己学習、課題学習(英語)
・グループ学習(3月）：タイ王国の概要、保健医療システム、保健指標、看護教育など
日本の保健医療・看護についての発表パワーポイント（英語）の作成
文化交流会の準備
・マヒドン大学研修生による発表（6月に予定）への参加

【実習中の課題】
・各講義・見学で学んだ内容を所定の記録用紙に記載する。
・毎日のカンファレンスにより一日を振り返り、グループ内で学びを共有し、深める。
・現地での英語による発表（日本の保健医療・看護）

【実習後の課題】
・実習後最終レポートを作成する。（テーマは後日提示）
・実習での学びを報告会等で発表する。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員は、看護職として国際協力の実務経験がある。国際保健・看護の教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。